

基本戦略 01 社会価値の創造

社会価値創造に挑戦する仕組みづくり

地域の脱炭素・観光産業・一次産業の支援を行うため「サステナビリティ推進部」と、新会社設立・新事業創出プロジェクトの推進・グループガバナンスの強化のため「グループ戦略推進室」を新設することで、社会課題の解決を通じて「社会価値」と「中長期的な収益」の創造をめざします。

社会価値創造への体制づくり

全従業員が参加し、地域課題の解決・社会価値創造に貢献する事業を創りあげていきます。



新事業創出プロジェクト

新中期経営計画では、これまで以上に幅広いソリューションをお客さまに提供することを通じて、経済価値と同時に社会価値を創出することをめざしています。

そのためには銀行業を中心としながらも、今よりさらに「頼りにされる銀行」となるため、当行グループ全体の事業ポートフォリオを入れ替えていく必要があります。

そこで、グループ全従業員の自由な発想をもとに、社会課題の解決を通じた「地域の幸せ」を創出するため、新たな事業を検討する新事業創出プロジェクトに取り組んでいます。



基本戦略 01 社会価値の創造

社会価値創造への挑戦

観光産業支援を通じて、滞在価値の創出と地域経済の活性化へ

観光産業は、宿泊業や飲食業だけでなく、運輸業、サービス業、農林水産業など地域の多様な産業に波及効果をもたらす重要な成長産業です。当行は、観光を核とした地域経済活性化をめざすため、新たな中期経営計画において「観光産業支援」を重点施策の一つに位置づけました。宿泊施設の整備や観光インフラの充実に向けた資金支援（ハード面）と、地域産品・文化等の魅力発信や体験型観光の開発支援（ソフト面）を組み合わせることで、「滞在価値の創出」を実現し、三重県内における観光消費の拡大を促します。観光産業の発展は、地域の雇用創出や地域産業の活性化にもつながります。自治体やDMO（観光地域づくり法人）、地域事業者などと連携し、持続可能な観光地づくりを推進することで、地域経済全体の発展に貢献していきます。

伊賀上野城下町の歴史的建造物の活用

民間都市開発推進機構が地域金融機関などと連携して組成する「アセットリノベーションファンド」に出資。本ファンドを通じて「NIPPONIA HOTEL 伊賀上野城下町」を運営するNOTE伊賀上野への投資を行い、地域社会・地域経済の持続的な成長に貢献。



滞在型観光の推進

受入環境整備

宿泊施設の整備、
バリアフリー化、
多言語対応、食の多様化など

観光需要創出

地域の豊かな食や
文化に触れる
体験の創出・発掘

滞在価値の創出（平均宿泊日数・観光消費額の伸長）

三重の「食」「文化」の発信

三重テラス（東京・日本橋）にて、三重県の「酒」とそれに合う「あて（食材）」を紹介するイベントを開催。酒蔵から参加者に対して地酒や酒造りにおけるこだわりなどを紹介するとともに、三重県総合博物館学芸員からお伊勢参りとお酒の文化について講演。



TOPICS 農林水産省東海農政局との連携協定について

2025年3月7日、東海地域の農林水産物・食品の輸出拡大に貢献することを目的として、農林水産省東海農政局との連携協定を締結しました。地域資源を活用した「輸出支援」と同時に「インバウンド誘客」も効果的に連動させることで海外マーケットに魅力ある地域コンテンツを発信します。当行ではインバウンド戦略のなかでも成長が期待されるムスリム市場に着目し、「ハラル対応」を軸とした受入環境整備の支援や情報発信を強化します。

2024年7月にはマレーシアの政府機関、2025年3月にはインドネシアの政府機関と連携したハラルラウンドテーブルミーティングイベントを開催し、「輸出支援」と「インバウンド誘客」の循環経済の実現に向けた活動を行っています。

